第446号

主な記事

1面	被災者の医療費窓口負担　来年も免除継続
2面	被災された方への医療費負担に係るアンケート調査結果
3面	高橋比奈子衆議院議員との懇談、危機的状況を打開し保険で良い歯科医療の実現を！義歯ネーム入れ開催、社保だより
4面	国の体制が足かせに、町家見学と酒造見学、予防接種助成広がる、理事会だより

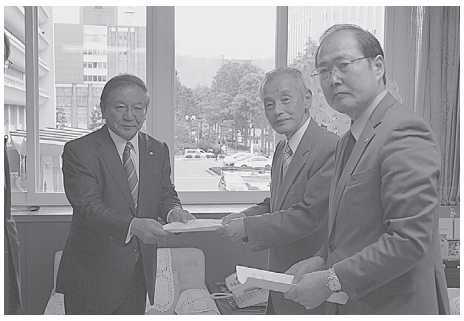
岩手県保険医新聞

発行所
岩手県保険医協会
〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通15－19
TEL 019-651-7341(代)
FAX 019-651-7374
発行人　箱石勝見
http://www.i-hoken-i.org
購読料　年2,400円（〒別）
会員の購読料は会費に含まれています。

被災者の医療費窓口負担
来年も免除継続

10月15日、達増知事は県として来年1月以降も被災者（国保と後期高齢者）の医療費窓口負担免除を継続すると表明しました。継続期間は来年12月末日までの1年とし、その後については改めて判断するとしています。

当協会では県に対し、免除を継続するよう求めていました。また、議会請願の取り組みも行っておりました。



千葉県議会議長に請願書を手渡す坂副会長（中央）と小山田副会長（右）（県議会議長室にて）

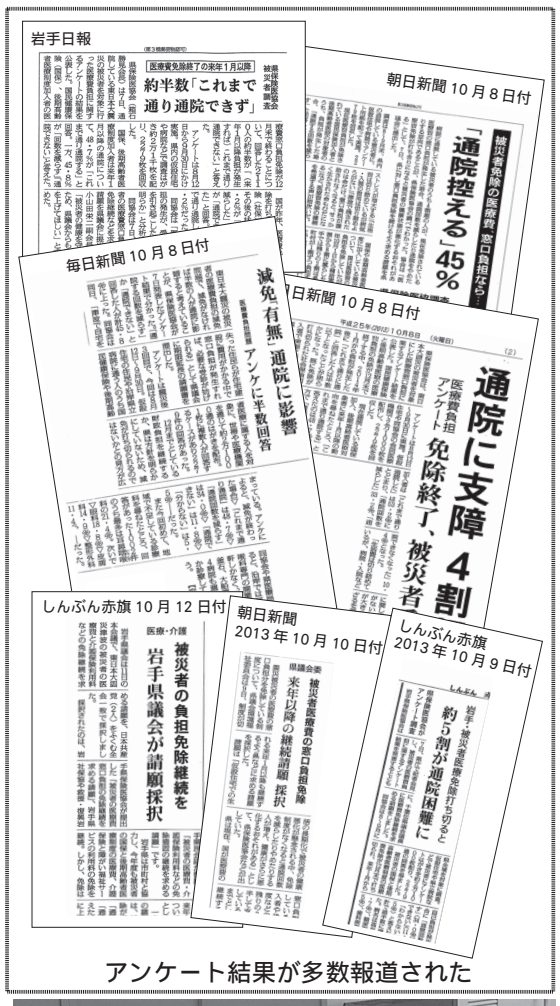
通院に支障　4割超え
被災者のアンケート結果

当協会が8～9月に被災された方に対して行ったアンケートは、2279通の返信がありました。4割を超える方が、医療費の窓口負担が発生した場合、通院回数を減らしたり通院をやめたりすることがわかりました（詳細は2面）。

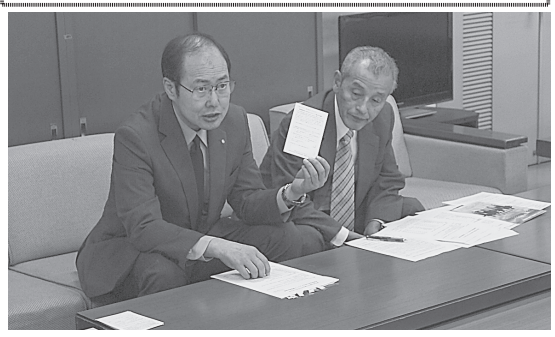
現在、窓口負担が免除されている国保加入者と後期高齢者医療の方で、負担が発生した場合「通院回数を減らす」が34％、「通院できない」は11・8％でした。

また、既に免除を打ち切られた社保の方については、負担発生後「通院回数を減らした」が33・2％、「通院できなくなった」が10・4％でした。

国や県に対する意見では「今後の生活は不安だらけ。通院をやめれば命にかかわるが、通院することで生活は貧しくなっていく気がする」「医療費免除については、どんなにか心や経済面で助かっていることか。延長を希望します」などの声が寄せられました。



アンケート結果が多数報道された



記者発表でアンケートはがきを持ちながら説明する小山田副会長（県庁記者クラブにて）

多数のマスメディアで報道

10月7日、県庁内の記者クラブにてアンケート結果を記者発表しました。坂副会長は「消費税増税も控え、被災地では医療費を切り詰めなければ生活できない人が出てくる深刻な事態が予想される」と話しました。

アンケートの内容については岩手日報、朝日新聞、岩手日日新聞、毎日新聞、しんぶん赤旗で掲載された他、NHKニュース・ラジオで報道されました。

県議会・市町村議会で請願採択

10月7日、免除の継続を求める請願を県議会に提出しました。小山田副会長は千葉伝議長に対し「被災者の健康を守るため、県議会からも声をあげてほしい」と求めました。

県議会は10月11日、全会一致で当協会の請願を採択しました。

また、提出した9つの沿岸市町村議会も釜石市議会を除き全て採択されました。

◎採択した議会

県議会、陸前高田市議会、大船渡市議会、大槌町議会、山田町議会、宮古市議会、岩泉町議会、田野畑村議会、野田村議会。

東日本大震災の被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める請願

東日本大震災により被災された国民健康保険（以下「国保」という）及び後期高齢者医療制度の被保険者の医療費窓口負担の免除が本年12月末日で終了し、来年1月より通常の負担が発生します。

当協会で被災された方々を対象に本年8月、9月に行ったアンケート調査では、負担が発生した後どうするかの問いに対し、「通院回数を減らす」、「通院できない」、「分からない」があわせて51.3％に上りました。また、社会保険（以下「社保」という）の被保険者は2012年2月に国の免除が打ち切られましたが、打ち切り後、「通院回数を減らした」、「通院できなくなった」が43.6％になりました。この結果から、国保や後期高齢者医療制度の自己負担が発生すれば、社保同様の事態となることが予想されます。またアンケートの意見には「住宅ローン、震災後の事業再建の借入の支払い、住宅再建などを考えると治療が続けられるか不安」「国保だけではなく社保も免除して欲しい」などの切実な声が738件寄せられました。

岩手県復興局生活再建課によれば、県内では8月末日時点で36,041名の方が仮設住居暮らしを余議なくされています。事業所の再開や雇用の確保も道半ばです。住宅の高台移転もほとんど進んでいません。新たな住宅建設には費用もかかります。そのような中で窓口負担が発生すれば、必要な受診が妨げられ健康をさらに悪化させる恐れがあります。

つきましては、被災された方の健康保持のため、下記の項目について請願致します。

請願項目

1．岩手県は、被災された方の医療費窓口負担免除に係る補助を2014年1月以降も継続して下さい
2．国において、被災された方の医療費窓口負担免除に係る費用の全額を補助するよう、国に対し意見書を提出して下さい
3．国において、被災された社保の方の医療費窓口負担の免除を復活するよう国に対し意見書を提出して下さい

鍼（はり）のひびき

桂枝雀の落語から：えー、お金はさみしがりやだといいます。あるところに集まろうとし、ないところからはすぐ出ていきます。1万円札でも「1枚立ち」出来ません。「さびしいなあ、沢山いるところに飛んで行こう」とします。なので沢山のお金を集めようと思えば、まずはたーくさんのお金を集めなくてはなりません。

しかし、ないところから絞り出そうと消費税。一方で所得税はかつての最高70％から今は40％と超高額所得者優遇、しかも超高額所得者は実質10数％しか所得税を払わず（財務省の情報）。そして大企業に有利な法人税の切り下げ。「受益者負担」を増やす＝個人負担が増えて、世界医師会がリスボン宣言で掲げた「公平な医療」はますます遠ざかります。

富裕層に少しでも愛国心なるものがあるのなら、こぞって国にカンパするべきではないでしょうか。自民党は二枚舌。富裕層の税負担を上げれば彼らは海外に逃げると言って反対したのは前の石原幹事長。自民党は富裕層には愛国心を求めず、貧困層には求める。自民党は汚い。富裕層のカンパが得られないなら、実質最高所得税を今すぐ70％にするべきです。

岩見

被災された方への医療費負担に係るアンケート調査結果

調査の目的

1．医療費窓口負担の免除が12月末日で打ち切られる予定の国保と後期高齢者医療の方の実態を捉えること。

2．国が2012年2月に免除を打ち切った社保の方の受診状況を捉えること。

調査期間：2013年8月12日～2013年9月30日

対 象 者：東日本大震災で被災し、通院されている方

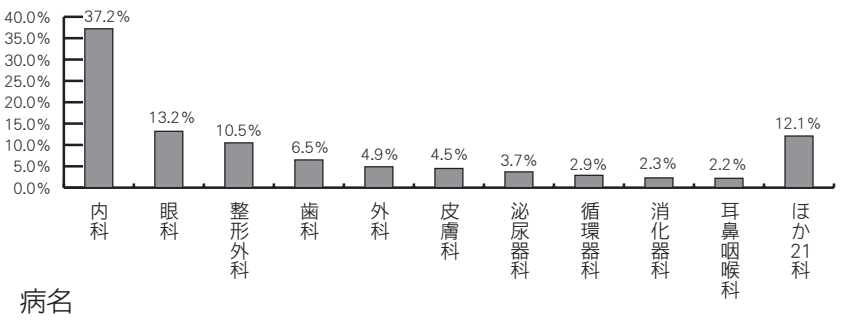
対象地域：岩手県全域

アンケート用紙配布先：仮設住宅群、会員医療機関、沿岸県立病院　約21,000通

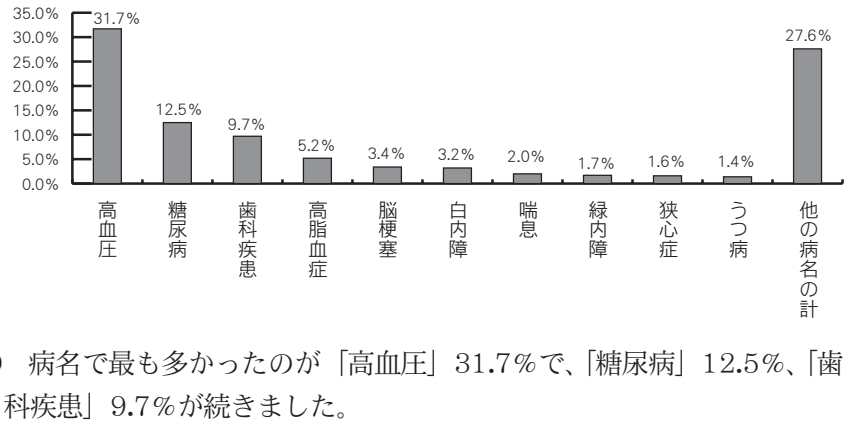
回収枚数：2,279枚

1．病名または診療科について

診療科



病名

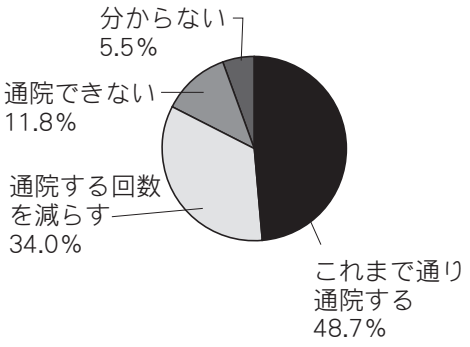


◎　病名で最も多かったのが「高血圧」31.7％で、「糖尿病」12.5％、「歯科疾患」9.7％が続きました。

県庁健康国保課の調査でも、地域によってＢＭＩ（肥満度）、血圧、脂質異常、肝機能の数値が上昇しており、この要因として同課では、食べ過ぎやアルコールの飲み過ぎ、喫煙、過度なストレスがあると考えられるとしています。そして、食生活・運動習慣の改善のための保健指導などの支援を継続して行っていく、としています。

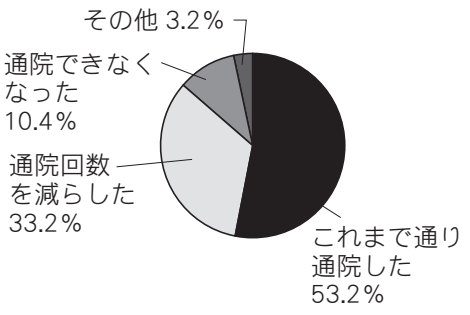
2．医療費の窓口負担が免除されている方へ。

来年1月から負担が発生した場合、どのようにされますか？（1つに○）



◎　1月からの負担発生後は「これまで通り通院する」が48.7％でした。一方、「回数を減らす」「通院できない」「分からない」を合わせると51.3％で、半数以上の方がこれまで通り通院できないと回答しています。

3．免除が打ち切られた方へ。打ち切り後について。（1つに○）



◎　負担発生後に「これまで通り通院した」が53.2％でした。一方、43.6％の方が「回数を減らした」「通院できなくなった」と回答しました。負担発生が、受診抑制を引き起こしたことは明らかです。

4．国や県に対しての意見（抜粋）

（問2に回答した方＝免除を受けている方）（Ｇは広報部）

1．医療費の免除が打ち切られると、毎月1万円ほどかかるので、ぜひ延長をお願いします。

2．交通費1回3,000円かかりますので、医療費が免除されて大変助かっております。

3．医療費が免除されているので、とても助かっています。特に子どもがいるので、通院や体調を崩す事もよくあるので助かります。6カ月の赤ちゃんもいて自分は働けないので、免除が継続になれば助かります。

4．週3日の通院。**仕事が出来ない、無職です。心配です。**

5．仮設住宅に住んでいるが生活が安定するまでの間、もう少し助けて欲しい。必ず通院しなければならないので、免除制度はとても助かります。仮設は体調もよくなく、ここにいる間は、制度を続けてもらえればありがたいです。

6．未だに仮設住まい、生活に密着しているものが、ドンドン値上げされている中、都合のいい話かもしれませんが、もう少し免除期間が長くなればと思っています。

7．年をとってくると病院に行く機会が多くなり、2度の免除延長というのも被災地の自分たちにとって、ありがたく**皆様の努力に大変感謝しております。**

8．65歳に年金生活になり、それとともに体調に不安な日々です。1年間に兄妹を癌で亡くし、生活費は切り詰めていますが、**病気・入院などに関しては、切り詰めようがない**です。

9．現在、血圧の薬を飲んでいますが、**薬代が高い**と感じています。このまま飲みつづけなければならないとすると負担に思います。

10．障害（精神）等3級であるが、免除項目が少ない。収入もなく困っている。とにかく**出ていく金を減らすため、引きこもりにもなり、病も悪化**する。何とかして欲しい。

11．医療費の免除の打ち切りはいずれ仕方がないと思うが、年金も下がり、消費税も上がり、今後の生活は苦しくなる一方と思う。年金暮らしであり、今後の生活は不安だらけ。**通院をやめれば命にかかわるが、通院することで生活は貧しくなっていく**気がする。

12．現在の投薬のおかげで、症状も和らぎ、仕事が続けられています。一生服用しなければならないと思うと精神的に落ち込みます。震災後は、ますます仕事を一生懸命やらなければ財産を失った者は大変です。**この医療費免除については、どんなにか心や経済面で助かっている事か**。延長を希望します。

13．**国保の負担金が大きい**。仕事がなく免除されているが国保税はきっちり取られている。

14．震災前、3割負担でしたので医療費が高く、今免除で助かります。家も仕事も失い仮設暮らしです。**早くここから脱出し、医療費も税金も支払う生活がしたい**。

15．免除制度のおかげで、通院も服用も中断せずに治療が続けられ年金生活の私にとって**命の綱**です。

16．**会計はございません。と言われるのは恥ずかしい。でも毎月の治療代、薬代は大きい**です。

17．寝たきりの母をショートステイ利用しながら、介護しています。1月の利用料を年金で間に合うようにして欲しいです。

18．病院、医院の数が不足のため、自覚症状があっても**悪化するまでは我慢**します。良い医療を求めるには遠方に行く事になり、経済的に大変。お金が無いものは生きるな！ということなのか、と思えてくる。震災で生き残ったことが悲しくなってくる。

19．70歳から75歳未満の人にも、所得が低ければ1割負担に据え置いて欲しい。

20．免除は助かりました。国民年金月35,000円では心配です。

（問3に回答した方＝免除が打ち切られた方）

1．震災で家が全壊。今仮設住宅に住んでおり、4か所の病院に通院しています。今社会保険ですが、今後免除されますように。

2．社会保険の医療費負担なので、**生活が苦しくて大変**です。薬は止めるわけにはいかないので、なんとかならないでしょうか。

3．社保はあっという間に免除が終わってしまった。**病院に行く回数を減らすしかない**。

4．国保だけ免除は納得がいかない。**何の為に必死で働いているのか**。収入を増やしているのか考えてもらいたい。今後のお金がかかるために、今がんばっているのに、体を壊したらどうしようもない。医療費免除復活を望みます。

5．社保ですが免除が切れ困っています。収入が減り、**病院へはひどくなってから行きます**。

意見　合計738件

■　税務調査、個別指導、保健所の立入検査の連絡があった際は、お早めに協会にご相談ください。（TEL019-651-7341）

復興に全力を尽くす
高橋比奈子衆議院議員との懇談

10月7日、盛岡市内にて高橋比奈子衆議院議員との懇談を行いました。

高橋議員に要請書を手渡す坂副会長（左から２人目）

当協会は、坂正毅副会長、小山田榮二副会長、佐藤豊常任理事、事務局が出席しました。

高橋議員に対し当協会は、被災者の医療費窓口負担免除を国が責任を持って行うこと、社会保障の抑制につながる社会保障国民会議の中身を改善すること、来年４月からの消費税増税を行わないこと、国民皆保険の崩壊につながるＴＰＰに参加しないことなどを要請しました。

高橋議員は、医療や環境、食の安全等に関して積極的に活動していることを紹介。特に放射能汚染の問題、原発に頼らないエネルギー確保について精力的に取り組んでいると述べられました。

協会とは今後も情報交換していくことなどを確認し懇談を終えました。

歯科

危機的状況を打開し保険で良い歯科医療の実現を！

10月27日、東京で『保険で良い歯科医療』の実現を求める請願署名」をお願いする街頭宣伝と「〝命を守る〟保険で良い歯科医療の実現を求める10・27歯科決起集会」が開催され、岩手からは小山田副会長と髙田常任理事、事務局が参加しました。

午前11時から正午まで、有楽町マリオン前と御茶の水駅前の2カ所に分かれ街頭宣伝を行い、通行人にチラシや歯ブラシ、キシリトール入りガム、ポケットティッシュなどを配布し528筆の署名を集めました。

小山田副会長と髙田常任理事は有楽町マリオン前での街頭宣伝に参加し、チラシなどを配布しながら署名を呼びかけ、請願署名の趣旨を詳しく説明し理解を求めました。また、小山田副会長は弁士としてマイクを握り、現在の被災地での歯科医療の実態を紹介し、被災地への支援をお願いするとともに、「保険で良い歯科医療」の実現と、被災地における窓口負担免除措置の継続、患者窓口負担の軽減を訴えました。

街頭で訴える小山田副会長（中央）

その後、港区ニューピアホールにて決起集会が開催され、歯科医療従事者、医師、諸団体、来賓、一般参加者を含め総勢339名が参加し、熱気に包まれました。

宇佐美宏保団連歯科代表のあいさつにはじまり、全日本民医連の江原雅博理事の基調報告、「各地各団体からの報告」が行われ、小山田副会長は、「被災された方に対する医療費負担に係るアンケート調査集計結果について」のリレートークで登壇し、本アンケートと県議会請願採択により国保患者の医療費窓口負担免除の延長を勝ち取ることができたという報告ならびに国の全額補助を求めるための全国的な取り組みのお願いと東日本大震災被災地へのさらなる支援を訴えました。

お口の中がきれいになって取り違いも防げる！
●●●　義歯ネーム入れ開催　●●●

10月20日、滝沢村の介護老人保健施設「カルモナ」にて「10（いれ）・8（ば）の日」にちなみ岩手県歯科技工士会との共同で「義歯ネーム入れ」を開催しました。

技工士会は小泉清三郎会長・池田斎専務をはじめ16名、当会より南部淑文副会長、黒田康之常任理事、事務局が参加しました。

義歯へのネーム入れは事前に希望のあった入所者21名、37床に対し行いました。まず歯科医師が義歯の状態を確認し、破折や欠損部分があれば修理の指示を行いながら、取り違えが無いようにネーム付きの消毒用容器に保管。その後義歯洗浄液を用い超音波洗浄器で消毒洗浄、次に技工士が義歯にネームをはめ込む部分を削り、予め用意したネームプレートをはめ込み、最後に研磨し再び超音波洗浄器で洗浄という手順で行われました。

本企画は義歯ネーム入れ単独開催の時から数えると今回で12回目（歯科衛生士会との共同による口腔ケアの同時開催は過去5回）となります。

本事業は、義歯の紛失や取り違いの防止につながるうえに義歯がきれいになるなど入所者や施設の職員ならびにそのご家族から喜ばれております。また、先般の東日本大震災においては、岩手県警より岩手県歯科技工士会に対し、ご遺体に装着されたネーム入りの義歯についての問い合わせが寄せられ、ネーム入りの義歯が身元判明の重要な役割を果たしました。

当会では、来年度も本事業を開催予定です。施設を運営されている先生方や、施設の嘱託医の先生方でご希望がございましたら事務局までご連絡下さい。

社保だより
★点数Q＆A★
－請求等のご質問について調べてお答えしております－

医科

在宅医療

Q　在宅時医学総合管理料を算定している場合、検査を行った際に検査料は請求できるか。

A　請求可能です。検査料は所定点数に含まれていません。

入院

地域連携診療計画退院時指導料の算定要件について次の2点を教えて下さい。

Q1　「退院時」に診療計画の作成、患者への説明…とあるが、説明する医師や患者の家族等の都合で、それらについて、「退院時」ではなく前日などでも可能か。

A1　考え方としては、必ずしも「退院時」ではなくても、退院の日が確定されているのであれば、前日などでも可能です。

Q2　患者への説明は、医師でなければならないのか。看護師などでは可能か。

A2　患者への説明は医師がするべきです。（A1、A2とも東北厚生局岩手事務所より）

医療保険と介護保険

Q　介護の療養ベッドに入院している患者に対して抗がん剤の注射を行った場合、医療保険で請求ができるか。

A　介護療養型医療施設（認知症病棟の病床を除く）で、介護療養施設サービス費のうち、他科受診時費用（362単位）を算定しない日の場合、注射の薬剤料が算定できる項目の中に抗がん剤は含まれていないので、算定はできません。一般病床に移すことで請求は可能です。

届出

Q　入院基本料の届出について。様式5の2「院内感染防止対策に係る内容」の「委員会の構成メンバー」が一人変わったが、改めて届出が必要か。

A　メンバーの変更による届出の必要はありません。（東北厚生局岩手事務所より）

国の体制が足かせに

被災者が主人公の復旧・復興をめざす「全国交流集会」が10月13～14日、花巻温泉で開かれました。主催は全国災対連と当会も参加している復興岩手県民会議等3県の団体で構成する実行委員会です。

冒頭、陸前高田市の戸羽太市長が記念講演『海と緑と太陽との共生・海浜新都市』の創造に向けて」で「過去の教訓から、津波に備えて訓練もしていたし、ハザードマップも各家庭に配っていたが、被害区分の色分けを見て、自分のところは大丈夫だと想定して逃げなかった人もいた」と、情報の発信や受け止め方の難しさについて話しました。

課題については、震災直後、経産省を通じて入手したガソリンを給油する手段が無いので、自衛隊にお願いしたところ、経産省の担当者から「自衛隊に給油を頼むのなら、ガソリンは防衛省からもらって、手配した分は返却してくれ」と言われた経験談を交えながら、国の体制が凝り固まりすぎてて、復興の足かせになっていると憤慨しておりました。

将来の陸前高田市は、震災孤児となった40数名が夢を持てる町、障害者が生き生きと暮らせる世界に誇れる街にしたいと述べておりました。

その後、参加者281名は、計10個の分科会において活発に討論を行い、まとめの報告会において、それぞれの分野で直面している課題等について理解を深めました。

予防接種 助成広がる

本紙10月号で風しんワクチンの県内市町村の助成状況についてお伝えしましたが、今回は任意予防接種全般について調査した結果をお届けします。

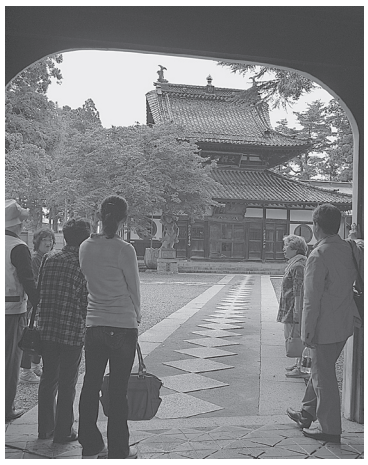
成人用肺炎球菌ワクチンについては、県内市町村の約半数が助成を行っており、助成する市町村が広がりを見せています（詳細は次月以降掲載予定）。

みずぼうそうとおたふくかぜは遠野市、葛巻町、金ケ崎町、田野畑村が助成を行っています（葛巻以外は自己負担無料）。ロタウイルスは大船渡市、陸前高田市、葛巻町、住田町で行っており、葛巻町以外は無料です。しかし、葛巻町は他の市町村が行っていない上記3つの予防接種の助成を行っており、子育て支援が手厚いと考えられます。また、田野畑村では助成している予防接種全てが自己負担無料となっており、予防接種事業に力を入れていることがわかります。

～地元の魅力を再発見～ 町家見学と酒造見学

10月6日、町家見学とあさ開の酒造見学を開催しました。

町家見学では、いわて観光おもてなしマイスターの福島さんのガイドで、大慈寺ならびに原敬墓所、青龍水、大慈清水お休み処・大澤家町家、大慈清水を巡りました。普段何気なく通っている鉈屋町界隈も、町の成り立ちや、各所の由来を伺いながらゆっくり歩き、いつもと違った視点から見ると、新たな再発見がたくさんありました。



鉈屋町界隈をいわて観光おもてなしマイスターの福島さんのガイドで散策

あさ開では、案内人の雫石さんのガイドで、麹→酒母→もろみと三回に分けて造る「三段仕込み」について、南部杜氏による伝統の手づくり行程、品質を一定に保ち大量生産するため新鋭設備で行う近代工程を見学しました。また、年に一回だけしか行わない「木桶仕込み」に使用する「木桶」も公開しておりました。この「木桶」は大変貴重なもので、現在同じものを作れる職人はおらず、「木桶仕込み」を行う酒造は年々少なくなっているそうです。

解説を聞きながら試飲

見学後は地酒物産館で、あさ開の駒井さんの解説のもと、先ほど見学した行程で造られた「非加熱生酒・無ろ過・無加水蔵出し大吟醸生原酒」、「季節限定純米吟醸ひやおろし」、「純米大辛口水神」梅と純米酒で造った〝和〟のリキュール「梅花音」、岩手湯田のヨーグルトをつかったお酒「よーぐりっち」などを無料試飲しました。

他に有料試飲とはなりますが、木桶仕込みの「純米大吟醸原酒木桶仕込み源三」、全国新酒鑑評会で平成以降全国最多十八回金賞を受賞している「大吟醸金賞受賞酒」、山田錦を原料とした「純米大吟醸極上旭扇」の大変貴重なお酒の利き酒セットも格安で試飲が可能です。

試飲後は併設レストランにて、ここでしか飲むことのできないクラフトビール（地ビール）と前述の利き酒セットとともにランチを味わいました。

参加者は、住み慣れた地元ではあったが知らないことがたくさんあり、新しい発見があって良かったと感想を述べられておりました。

任意予防接種費用補助詳細

【みずぼうそう】

市町村名		対象者	助成額	自己負担	助成開始または開始予定年月
7	遠野市	1歳以上就学前	集団接種ワクチン代	無料	2013年4月
15	葛巻町	①1歳～就学前	4,000円	医療機関による（約4,000円）	2012年4月1日
		②高校3年生			2013年4月1日
21	金ケ崎町	町内に住所を有する満1歳～5歳未満	上限　10,000円	医療機関による（ほぼ0円）	2012年4月1日
27	田野畑村	村内に住所を有する満1歳以上就学前	全額（7,000円）	無料	2011年8月

【おたふくかぜ】

市町村名		対象者	助成額	自己負担	助成開始または開始予定年月
7	遠野市	1歳以上就学前	集団接種ワクチン代	無料	2013年4月
15	葛巻町	①1歳～就学前	3,000円	医療機関による（約3,000円）	2012年4月1日
		②高校3年生			2013年4月1日
21	金ケ崎町	町内に住所を有する満1歳～5歳未満	上限　10,000円	医療機関による（ほぼ0円）	2012年4月1日
27	田野畑村	村内に住所を有する満1歳以上就学前	全額（6,000円）	無料	2011年8月

【ロタ】

市町村名		対象者	助成額	自己負担	助成開始または開始予定年月
3	大船渡市	生後満6週以上24週以内の乳児	一回14,000円	無料	2012年1月1日
9	陸前高田市	生後6週～24週まで	14,000円	無料	2012年1月1日
15	葛巻町	①ロタテック　生後6～32週未満 ②ロタリックス　生後6～24週未満	21,000円	医療機関による（約8,000円）	2013年4月1日
23	住田町	生後6週～24週	全額	無料	2011年度

任意予防接種費用助成実施状況

（2013年8月現在・岩手県保険医協会調査）

		みずぼうそう	おたふくかぜ	成人用23価肺炎球菌	ロタウイルス	B型肝炎ウイルス	MR（風疹）ワクチン風疹ワクチン
合計（予定含む）		4	4	18	4	0	33
無料実施		3	3	3	3	0	4
1	盛岡市	—	—	—	—	—	○
2	宮古市	—	—	○	—	—	◎
3	大船渡市	—	—	—	◎	—	○
4	花巻市	—	—	○	—	—	○
5	北上市	—	—	○	—	—	○
6	久慈市	—	—	—	—	—	○
7	遠野市	◎	◎	—	—	—	○
8	一関市	—	—	○	—	—	○
9	陸前高田市	—	—	—	◎	—	○
10	釜石市	—	—	○	—	—	○
11	二戸市	—	—	—	—	—	○
12	八幡平市	—	—	—	—	—	○
13	奥州市	—	—	○	—	—	○
14	雫石町	—	—	—	—	—	○
15	葛巻町	○	○	◎	○	—	○
16	岩手町	—	—	—	—	—	○
17	滝沢村	—	—	—	—	—	○
18	紫波町	—	—	○	—	—	○
19	矢巾町	—	—	—	—	—	○
20	西和賀町	—	—	—	—	—	○
21	金ケ崎町	◎	◎	○	—	—	○
22	平泉町	—	—	○	—	—	○
23	住田町	—	—	○	◎	—	○
24	大槌町	—	—	○	—	—	○
25	山田町	—	—	○	—	—	○
26	岩泉町	—	—	—	—	—	○
27	田野畑村	◎	◎	◎	—	—	◎
28	普代村	—	—	◎	—	—	◎
29	軽米町	—	—	—	—	—	○
30	野田村	—	—	○	—	—	◎
31	九戸村	—	—	—	—	—	○
32	洋野町	—	—	○	—	—	○
33	一戸町	—	—	○	—	—	○

記号はそれぞれ次の通り。◎：自己負担無料で実施、○：助成を実施、△：実施予定
実施予定で、実施年月・対象者・助成額等の詳細な記載がある場合は「○：助成を実施」とした

理事会だより 9月

【日時】2013年9月17日(火) 19：30～21：10

【場所】盛岡フコク生命ビル会議室

【出席者】役員、事務局併せて13名

1、2013年8月期報告並びに9～10月期活動計画について承認された

2、被災者生活支援等施策の推進に課する基本的な方針（案）に関するパブリックコメントを提出することが承認された

3、新たな会員区分について、引き続き検討することとなった

4、放射能汚染地図を全会員に配布することになった